

ニホンアマガエルを飼おう

ニホンアマガエル

ニホンアマガエルは樹上での生活に適応していて、水辺の植物の上や森林などで暮らしているよ。春から秋まで活動し、冬は温度差の少ない地中で冬眠するよ。

変態中のニホンアマガエル

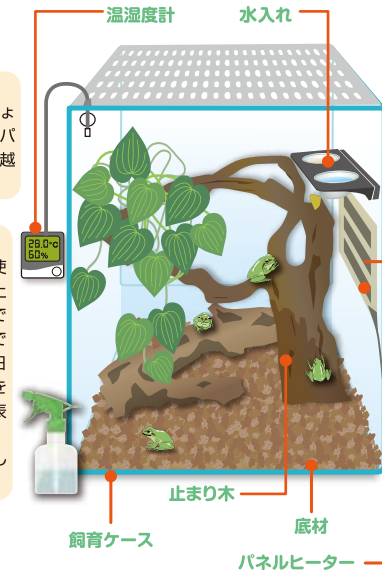


【温度】

21～28℃に保ちましょう。冬眠は難しいので、パネルヒーターを使用して越冬させる方が無難です。

【床材・湿度】

市販の両生類用ソイルも使えますが、園芸用の赤玉土や水ゴケなどでもいいでしょう。乾燥に弱いのでしっかりと湿らし、1日1回は霧吹きで湿度を50%以上に保とう。体表から水分を吸収するため、底材は定期的に洗うなどして清潔に保ちましょう。



【ケージ】

市販されているプラケースで飼育可能ですが、高さ(30cm程度)があると理想的です。飛び出しが多いので絶対にフタをしましょう。

【水入れ】

お風呂に入るように浸かっている可愛い姿が観察できます。全身が入る程度の大きさがあれば十分ですが、口ではなくお腹から水を補給するため、毎日交換して綺麗な水を保ちましょう。

【給餌】

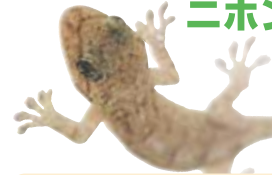
2～3日に1回、レオバゲルなら適量を、レオパドライの場合は半分に割ってふやかしたものをピンセットでつまんで与えましょう。目の前でふりふりすると高確率で食いつきます。



ニホンヤモリを飼おう

ニホンヤモリ

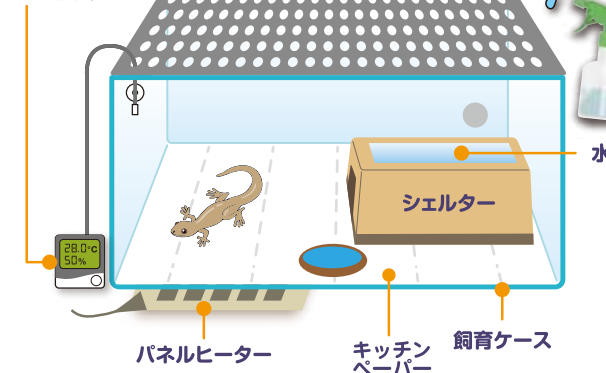
民家や街角の明かりに集まる虫を食べる夜行性の爬虫類だよ。漢字で「家守」と表記され、日本では家を守る縁起の良い生き物として昔から親しまれているよ。指には、肉眼では見えない細かい毛が無数についていて、壁やガラスにくっつくことができるよ。本州・四国・九州地方で春～秋にかけて見つけられるよ。



【ケージ】

市販されているプラケースで飼育可能ですが、フタの開け閉めで音になるケースはヤモリがびっくりして餌を食べづらくなってしまいます。扉など開閉が静かで簡単なものだと便利です。脱走名人なので体が通れる程度の小さな穴も塞ぎましょう。

温度計



【霧吹き】

ガラスやアクリル面に霧吹きをすると水垢になってしまうので、シェルターにかけるとその心配がなく、ペロペロと舐めて水分補給します。

【温度】

日本に生息するヤモリなので温度幅はある程度あっても平気ですが、25℃前後が最も活発に活動します。冬眠は難しいので、パネルヒーターを使用して越冬させる方が無難です。パネルヒーターを使用する場合は全面に敷くのではなく、涼しいところも作ってヤモリが自分で調節できるようにしましょう。

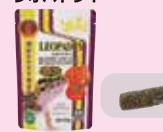
【床材・シェルター】

床材はキッチンペーパーでの管理が最も簡単です。濡らしておくとも湿度も保てます。身を潜められるよう影ができるシェルターを用意してあげましょう。水入れ付きの物がよく使われます。

LEOPAGEL レオバゲル



LEOPADRY レオパドライ



【給餌】

毎日1回、レオバゲルなら適量を、レオパドライの場合は半分に割ってふやかしたものをピンセットでつまんで与えましょう。目の前で動かしてあげると高確率で食いつきます。それでも食べてくれない場合は活コオロギをピンセットで与え、慣れさせましょう。

～日本で見られる他のカエル～



トノサマガエル



ツチガエル



ヌマガエル



カジカガエル



ニホンヒキガエル

みんなの
人気者

野
外
で
つ
か
ま
え
た
両
生
爬
虫
類

を飼
か
おう



これ1冊で
各生き物の
飼い方がわかるよ！



ご自由にお持ち帰り下さい